

【研究主題】 創立50周年記念事業
【副題】 みんなで「おりぞめ」をしよう！

【学校名】 滋賀県立八日市養護学校

1 本校の概要

本校滋賀県立八日市養護学校は、昭和49年に全県を校区に知的障害教育の養護学校としてスタートし、今年創立50周年を迎えました。現在は、知肢併置の特別支援学校となり、令和6年度は小学部85名、中学部51名、高等部99名の全校生徒235名が在籍しています。

2 取り組んだ内容

(1) 「おりぞめ」作品づくり

創立50周年記念事業の一環として、全校の児童生徒、教職員、PTAがともに「おりぞめ」の作品づくりをとおして、共同作品を作る教育活動に取り組んだ。

今年度、各学部におりぞめ材料（おりぞめ用和紙、おりぞめ液、液を入れる容器、容器を入れるボックス）を配布し、各クラスの学習の一環として「おりぞめ」の学習を設定した。全校児童生徒、教職員は必ず一枚以上は制作することとしました。

夏季休業中に教職員で144枚（3m×3m）をつなぎ合わせ、共同作品を4個制作した。そして、令和6年9月30日の創立50周年記念事業の前日に体育館の壁に設置しました。



おりぞめの学習の様子&作品



教職員でおりぞめ貼り合わせの様子

(2) 創立50周年記念事業「おりぞめ共同作品発表」

令和6年9月30日に創立50周年記念事業の集会を全校で行いました。集会の中で、おりぞめ学習活動の様子を各クラス一枚ずつスライド上映し全校のみんなで鑑賞しました。その後、全校の児童生徒でカウントダウンをし、おりぞめ共同作品の披露をし、ともに学習の成果を称えあいました。



3 活動の成果

どの児童生徒も「おりぞめ」の制作に興味を示し、意欲的に活動に向かうことができました。10色のおりぞめ液を使ったり、和紙のおり方を工夫したりすることで、オリジナルの様々な作品ができるので、繰り返し活動するクラスが多くありました。子どもたちも主体的に取り組んだことで非常に多くの作品が集まりました。

また、全校で「おりぞめ」の学習に取り組むことで、学部を超えて一緒におりぞめの学習活動をするクラスも現れるなど、互いに交流を深める良い機会にもなりました。

50周年記念集会には、おりぞめ学習活動のスライドショーにも注目し、自分たちのクラスが映し出されると喜ぶ子どもたちの様子が見られました。

体育館の壁に設置したことで、10月中旬～11月に行われる各学部の学習発表会で保護者の方たちにも鑑賞していただくこととしました。今年度中は、共同作品を継続して設置して、折にふれ八日市養護学校の50周年を多くの方々とともに祝うことができると考えています。